

Q0001

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント1：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
次の説明に最も合う用語はどれか。顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

- A. 関連業法の遵守
- B. FPの職業倫理
- C. キャッシュフロー表
- D. 年金終価係数

答え・解説

Q0001 正答：B. FPの職業倫理

解説：FPの職業倫理は、顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント2：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
FPの職業倫理の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- C. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- D. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

答え・解説

Q0002 正答：C. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

解説：FPの職業倫理の要点は「顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント3：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「FPの職業倫理」である。

- A. 関連業法の遵守：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- B. キャッシュフロー表：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- C. 年金終価係数：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- D. FPの職業倫理：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

答え・解説

Q0003 正答：D. FPの職業倫理：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

解説：正しい組合せは「FPの職業倫理：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント4：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

「FPの職業倫理」は、顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。FPの職業倫理は顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント5：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

組織が「顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 関連業法の遵守
- B. FPの職業倫理
- C. キャッシュフロー表
- D. 年金終価係数

答え・解説

Q0005 正答：B. FPの職業倫理

解説：この目的に対応するのはFPの職業倫理である。顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則という機能・考え方を持つためである。

Q0006

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント6：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

「FPの職業倫理」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 毎期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- C. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- D. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

答え・解説

Q0006 正答：C. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

解説：FPの職業倫理は顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント7：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

「FPの職業倫理」は、**税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること。**

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述は関連業法の遵守の説明である。FPの職業倫理は顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則。

Q0008

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント8：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

次の状況で中心となる論点はどれか。「顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則」ことが求められている。

- A. FPの職業倫理
- B. キャッシュフロー表
- C. 年金終価係数
- D. 関連業法の遵守

答え・解説

Q0008 正答：A. FPの職業倫理

解説：中心となる論点はFPの職業倫理である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント9：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

FPの職業倫理は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0009 正答：×

解説：誤り。FPの職業倫理は顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0010

ライフプランニングと資金計画

タグ：FPの職業倫理

用語：FPの職業倫理の確認ポイント10：顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

FPの職業倫理と他の類似概念を区別する際は、「顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0010 正答：○

解説：正しい。FPの職業倫理の定義は顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則であり、類似概念との区別に使える。

Q0011

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント1：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

次の説明に最も合う用語はどれか。税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

- A. ライフイベント表
- B. 個人バランスシート
- C. 関連業法の遵守
- D. 減債基金係数

答え・解説

Q0011 正答：C. 関連業法の遵守

解説：関連業法の遵守は、税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0012

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント2：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

関連業法の遵守の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- B. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- C. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- D. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

答え・解説

Q0012 正答：D. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

解説：関連業法の遵守の要点は「税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0013

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント3：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「関連業法の遵守」である。

- A. 関連業法の遵守：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- B. ライフイベント表：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- C. 個人バランスシート：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- D. 減債基金係数：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

答え・解説

Q0013 正答：A. 関連業法の遵守：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

解説：正しい組合せは「関連業法の遵守：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0014

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント4：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

「関連業法の遵守」は、税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0014 正答：○

解説：正しい。関連業法の遵守は税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0015

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント5：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

組織が「税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ライフイベント表
- B. 個人バランスシート
- C. 関連業法の遵守
- D. 減債基金係数

答え・解説

Q0015 正答：C. 関連業法の遵守

解説：この目的に対応するのは関連業法の遵守である。税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言することという機能・考え方を持つためである。

Q0016

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント6：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

「関連業法の遵守」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- B. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- C. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- D. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

答え・解説

Q0016 正答：D. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

解説：関連業法の遵守は税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0017

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント7：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

「関連業法の遵守」は、家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0017 正答：×

解説：誤り。記述はライフイベント表の説明である。関連業法の遵守は税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること。

Q0018

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント8：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

次の状況で中心となる論点はどれか。「税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること」ことが求められている。

A. 個人バランスシート

B. 関連業法の遵守

C. 減債基金係数

D. ライフイベント表

答え・解説

Q0018 正答：B. 関連業法の遵守

解説：中心となる論点は関連業法の遵守である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0019

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント9：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

関連業法の遵守を選定するときは、「税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0019 正答：○

解説：正しい。関連業法の遵守の選定・運用では、税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言することという目的との適合を確認する。

Q0020

ライフプランニングと資金計画

タグ：関連業法の遵守

用語：関連業法の遵守の確認ポイント10：税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること

関連業法の遵守は、税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言することという説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0020 正答：×

解説：誤り。関連業法の遵守はまさに税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言することという意味を持つ。

Q0021

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント1：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

次の説明に最も合う用語はどれか。家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

- A. キャッシュフロー表
- B. 終価係数
- C. 資本回収係数
- D. ライフイベント表

答え・解説

Q0021 正答：D. ライフイベント表

解説：ライフイベント表は、家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0022

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント2：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

ライフイベント表の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- C. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- D. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

答え・解説

Q0022 正答：A. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

解説：ライフイベント表の要点は「家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0023

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント3：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ライフイベント表」である。

- A. キャッシュフロー表：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- B. ライフイベント表：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- C. 終価係数：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- D. 資本回収係数：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

答え・解説

Q0023 正答：B. ライフイベント表：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

解説：正しい組合せは「ライフイベント表：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0024

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント4：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

「ライフイベント表」は、家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0024 正答：○

解説：正しい。ライフイベント表は家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0025

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント5：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

組織が「家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. キャッシュフロー表
- B. 終価係数
- C. 資本回収係数
- D. ライフイベント表

答え・解説

Q0025 正答：D. ライフイベント表

解説：この目的に対応するのはライフイベント表である。家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表という機能・考え方を持つためである。

Q0026

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント6：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

「ライフイベント表」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- B. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- C. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- D. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

答え・解説

Q0026 正答：A. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

解説：ライフイベント表は家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0027

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント7：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

「ライフイベント表」は、将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0027 正答：×

解説：誤り。記述はキャッシュフロー表の説明である。ライフイベント表は家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表。

Q0028

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント8：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

次の状況で中心となる論点はどれか。「家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表」ことが求められている。

A. 終価係数

B. 資本回収係数

C. ライフイベント表

D. キャッシュフロー表

答え・解説

Q0028 正答：C. ライフイベント表

解説：中心となる論点はライフイベント表である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0029

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント9：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

ライフイベント表は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0029 正答：×

解説：誤り。ライフイベント表は家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0030

ライフプランニングと資金計画

タグ：ライフイベント表

用語：ライフイベント表の確認ポイント10：家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

ライフイベント表と他の類似概念を区別する際は、「家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0030 正答：○

解説：正しい。ライフイベント表の定義は家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表であり、類似概念との区別に使える。

Q0031

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント1：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

次の説明に最も合う用語はどれか。将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

- A. キャッシュフロー表
- B. 個人バランスシート
- C. 現価係数
- D. 年金現価係数

答え・解説

Q0031 正答：A. キャッシュフロー表

解説：キャッシュフロー表は、将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0032

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント2：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

キャッシュフロー表の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- C. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- D. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

答え・解説

Q0032 正答：B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

解説：キャッシュフロー表の要点は「将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0033

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント3：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「キャッシュフロー表」である。

- A. 個人バランスシート：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- B. 現価係数：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- C. キャッシュフロー表：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- D. 年金現価係数：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

答え・解説

Q0033 正答：C. キャッシュフロー表：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

解説：正しい組合せは「キャッシュフロー表：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表」。用語だけでなく、何を守り、何进行处理する概念かを確認する。

Q0034

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント4：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

「キャッシュフロー表」は、将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：○

解説：正しい。キャッシュフロー表は将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0035

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント5：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

組織が「将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. キャッシュフロー表
- B. 個人バランスシート
- C. 現価係数
- D. 年金現価係数

答え・解説

Q0035 正答：A. キャッシュフロー表

解説：この目的に対応するのはキャッシュフロー表である。将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表という機能・考え方を持つためである。

Q0036

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント6：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

「キャッシュフロー表」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- C. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- D. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

答え・解説

Q0036 正答：B. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

解説：キャッシュフロー表は将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0037

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント7：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

「キャッシュフロー表」は、一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0037 正答：×

解説：誤り。記述は個人バランスシートの説明である。キャッシュフロー表は将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表。

Q0038

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント8：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

次の状況で中心となる論点はどれか。「将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表」ことが求められている。

A. 現価係数

B. 年金現価係数

C. 個人バランスシート

D. キャッシュフロー表

答え・解説

Q0038 正答：D. キャッシュフロー表

解説：中心となる論点はキャッシュフロー表である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0039

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント9：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

キャッシュフロー表を選定するときは、「将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0039 正答：○

解説：正しい。キャッシュフロー表の選定・運用では、将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表という目的との適合を確認する。

Q0040

ライフプランニングと資金計画

タグ：キャッシュフロー表

用語：キャッシュフロー表の確認ポイント10：将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

キャッシュフロー表は、将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0040 正答：×

解説：誤り。キャッシュフロー表はまさに将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表という意味を持つ。

Q0041

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント1：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

次の説明に最も合う用語はどれか。一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

- A. 終価係数
- B. 個人バランスシート
- C. 年金終価係数
- D. 公的医療保険

答え・解説

Q0041 正答：B. 個人バランスシート

解説：個人バランスシートは、一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0042

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント2：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

個人バランスシートの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- C. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- D. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

答え・解説

Q0042 正答：C. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

解説：個人バランスシートの要点は「一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0043

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント3：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「個人バランスシート」である。

- A. 終価係数：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- B. 年金終価係数：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- C. 公的医療保険：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- D. 個人バランスシート：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

答え・解説

Q0043 正答：D. 個人バランスシート：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

解説：正しい組合せは「個人バランスシート：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0044

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント4：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

「個人バランスシート」は、一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0044 正答：○

解説：正しい。個人バランスシートは一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0045

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント5：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

組織が「一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 終価係数
- B. 個人バランスシート
- C. 年金終価係数
- D. 公的医療保険

答え・解説

Q0045 正答：B. 個人バランスシート

解説：この目的に対応するのは個人バランスシートである。一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表という機能・考え方を持つためである。

Q0046

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント6：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

「個人バランスシート」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- C. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- D. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

答え・解説

Q0046 正答：C. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

解説：個人バランスシートは一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0047

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント7：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

「個人バランスシート」は、現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0047 正答：×

解説：誤り。記述は終価係数の説明である。個人バランスシートは一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表。

Q0048

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント8：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

次の状況で中心となる論点はどれか。「一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表」ことが求められている。

- A. 個人バランスシート
- B. 年金終価係数
- C. 公的医療保険
- D. 終価係数

答え・解説

Q0048 正答：A. 個人バランスシート

解説：中心となる論点は個人バランスシートである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0049

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント9：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

個人バランスシートは名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0049 正答：×

解説：誤り。個人バランスシートは一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0050

ライフプランニングと資金計画

タグ：個人バランスシート

用語：個人バランスシートの確認ポイント10：一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

個人バランスシートと他の類似概念を区別する際は、「一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0050 正答：○

解説：正しい。個人バランスシートの定義は一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表であり、類似概念との区別に使える。

Q0051

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント1：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

次の説明に最も合う用語はどれか。現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

- A. 現価係数
- B. 減債基金係数
- C. 終価係数
- D. 国民年金

答え・解説

Q0051 正答：C. 終価係数

解説：終価係数は、現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0052

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント2：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

終価係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- B. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- C. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- D. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

答え・解説

Q0052 正答：D. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

解説：終価係数の要点は「現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0053

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント3：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「終価係数」である。

- A. 終価係数：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- B. 現価係数：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- C. 減債基金係数：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- D. 国民年金：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

答え・解説

Q0053 正答：A. 終価係数：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

解説：正しい組合せは「終価係数：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0054

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント4：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

「終価係数」は、現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0054 正答：○

解説：正しい。終価係数は現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0055

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント5：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

組織が「現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 現価係数
- B. 減債基金係数
- C. 終価係数
- D. 国民年金

答え・解説

Q0055 正答：C. 終価係数

解説：この目的に対応するのは終価係数である。現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数という機能・考え方を持つためである。

Q0056

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント6：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

「終価係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- B. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- C. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- D. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

答え・解説

Q0056 正答：D. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

解説：終価係数は現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0057

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント7：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

「終価係数」は、将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0057 正答：×

解説：誤り。記述は現価係数の説明である。終価係数は現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数。

Q0058

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント8：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

次の状況で中心となる論点はどれか。「現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数」ことが求められている。

A. 減債基金係数

B. 終価係数

C. 国民年金

D. 現価係数

答え・解説

Q0058 正答：B. 終価係数

解説：中心となる論点は終価係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0059

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント9：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

終価係数を選定するときは、「現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0059 正答：○

解説：正しい。終価係数の選定・運用では、現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数という目的との適合を確認する。

Q0060

ライフプランニングと資金計画

タグ：終価係数

用語：終価係数の確認ポイント10：現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数

終価係数は、現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0060 正答：×

解説：誤り。終価係数はまさに現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数という意味を持つ。

Q0061

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント1：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

次の説明に最も合う用語はどれか。将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

- A. 年金終価係数
- B. 資本回収係数
- C. 厚生年金保険
- D. 現価係数

答え・解説

Q0061 正答：D. 現価係数

解説：現価係数は、将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0062

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント2：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

現価係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- C. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- D. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

答え・解説

Q0062 正答：A. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

解説：現価係数の要点は「将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0063

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント3：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「現価係数」である。

- A. 年金終価係数：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- B. 現価係数：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- C. 資本回収係数：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- D. 厚生年金保険：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

答え・解説

Q0063 正答：B. 現価係数：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

解説：正しい組合せは「現価係数：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数」。
用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0064

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント4：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

「現価係数」は、将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0064 正答：○

解説：正しい。現価係数は将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数。実務では
対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0065

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント5：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

組織が「将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 年金終価係数
- B. 資本回収係数
- C. 厚生年金保険
- D. 現価係数

答え・解説

Q0065 正答：D. 現価係数

解説：この目的に対応するのは現価係数である。将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数という機能・考え方を持つためである。

Q0066

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント6：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

「現価係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- B. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- C. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- D. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

答え・解説

Q0066 正答：A. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

解説：現価係数は将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0067

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント7：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

「現価係数」は、每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0067 正答：×

解説：誤り。記述は年金終価係数の説明である。現価係数は将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数。

Q0068

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント8：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

次の状況で中心となる論点はどれか。「将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数」ことが求められている。

A. 資本回収係数

B. 厚生年金保険

C. 現価係数

D. 年金終価係数

答え・解説

Q0068 正答：C. 現価係数

解説：中心となる論点は現価係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0069

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント9：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

現価係数は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0069 正答：×

解説：誤り。現価係数は将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0070

ライフプランニングと資金計画

タグ：現価係数

用語：現価係数の確認ポイント10：将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

現価係数と他の類似概念を区別する際は、「将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0070 正答：○

解説：正しい。現価係数の定義は将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数であり、類似概念との区別に使える。

Q0071

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント1：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

次の説明に最も合う用語はどれか。每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

- A. 年金終価係数
- B. 減債基金係数
- C. 年金現価係数
- D. 住宅ローン

答え・解説

Q0071 正答：A. 年金終価係数

解説：年金終価係数は、每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0072

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント2：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

年金終価係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- C. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- D. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

答え・解説

Q0072 正答：B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

解説：年金終価係数の要点は「每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0073

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント3：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「年金終価係数」である。

- A. 減債基金係数：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- B. 年金現価係数：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- C. 年金終価係数：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- D. 住宅ローン：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

答え・解説

Q0073 正答：C. 年金終価係数：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

解説：正しい組合せは「年金終価係数：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0074

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント4：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

「年金終価係数」は、每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0074 正答：○

解説：正しい。年金終価係数は每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0075

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント5：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

組織が「每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 年金終価係数
- B. 減債基金係数
- C. 年金現価係数
- D. 住宅ローン

答え・解説

Q0075 正答：A. 年金終価係数

解説：この目的に対応するのは年金終価係数である。每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数という機能・考え方を持つためである。

Q0076

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント6：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

「年金終価係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資
- B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数
- C. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- D. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

答え・解説

Q0076 正答：B. 每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

解説：年金終価係数は每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0077

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント7：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

「年金終価係数」は、目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0077 正答：×

解説：誤り。記述は減債基金係数の説明である。年金終価係数は每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数。

Q0078

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント8：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

次の状況で中心となる論点はどれか。「每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数」ことが求められている。

A. 年金現価係数

B. 住宅ローン

C. 減債基金係数

D. 年金終価係数

答え・解説

Q0078 正答：D. 年金終価係数

解説：中心となる論点は年金終価係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0079

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント9：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

年金終価係数を選定するときは、「每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：○

解説：正しい。年金終価係数の選定・運用では、每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数という目的との適合を確認する。

Q0080

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金終価係数

用語：年金終価係数の確認ポイント10：每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数

年金終価係数は、每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0080 正答：×

解説：誤り。年金終価係数はまさに每期一定額を積み立てた場合の将来合計額を求める係数という意味を持つ。

Q0081

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント1：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

次の説明に最も合う用語はどれか。目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

- A. 資本回収係数
- B. 減債基金係数
- C. 公的医療保険
- D. FPの職業倫理

答え・解説

Q0081 正答：B. 減債基金係数

解説：減債基金係数は、目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0082

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント2：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

減債基金係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- C. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- D. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

答え・解説

Q0082 正答：C. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

解説：減債基金係数の要点は「目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0083

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント3：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「減債基金係数」である。

- A. 資本回収係数：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- B. 公的医療保険：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- C. FPの職業倫理：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- D. 減債基金係数：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

答え・解説

Q0083 正答：D. 減債基金係数：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

解説：正しい組合せは「減債基金係数：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0084

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント4：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

「減債基金係数」は、目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0084 正答：○

解説：正しい。減債基金係数は目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0085

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント5：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

組織が「目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 資本回収係数
- B. 減債基金係数
- C. 公的医療保険
- D. FPの職業倫理

答え・解説

Q0085 正答：B. 減債基金係数

解説：この目的に対応するのは減債基金係数である。目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数という機能・考え方を持つためである。

Q0086

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント6：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

「減債基金係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- C. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数
- D. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

答え・解説

Q0086 正答：C. 目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

解説：減債基金係数は目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0087

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント7：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

「減債基金係数」は、現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0087 正答：×

解説：誤り。記述は資本回収係数の説明である。減債基金係数は目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数。

Q0088

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント8：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

次の状況で中心となる論点はどれか。「目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数」ことが求められている。

- A. 減債基金係数
- B. 公的医療保険
- C. FPの職業倫理
- D. 資本回収係数

答え・解説

Q0088 正答：A. 減債基金係数

解説：中心となる論点は減債基金係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0089

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント9：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

減債基金係数は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0089 正答：×

解説：誤り。減債基金係数は目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0090

ライフプランニングと資金計画

タグ：減債基金係数

用語：減債基金係数の確認ポイント10：目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数

減債基金係数と他の類似概念を区別する際は、「目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0090 正答：○

解説：正しい。減債基金係数の定義は目標将来額を得るため每期積み立てる一定額を求める係数であり、類似概念との区別に使える。

Q0091

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント1：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

次の説明に最も合う用語はどれか。現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の
每期受取額を求める係数

- A. 年金現価係数
- B. 国民年金
- C. 資本回収係数
- D. 関連業法の遵守

答え・解説

Q0091 正答：C. 資本回収係数

解説：資本回収係数は、現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0092

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント2：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

資本回収係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- B. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- C. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- D. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

答え・解説

Q0092 正答：D. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

解説：資本回収係数の要点は「現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0093

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント3：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「資本回収係数」である。

- A. 資本回収係数：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- B. 年金現価係数：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- C. 国民年金：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数
- D. 関連業法の遵守：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

答え・解説

Q0093 正答：A. 資本回収係数：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

解説：正しい組合せは「資本回収係数：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数」。用語だけでなく、何を守り、何进行处理する概念かを確認する。

Q0094

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント4：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

「資本回収係数」は、現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0094 正答：○

解説：正しい。資本回収係数は現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0095

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント5：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

組織が「現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 年金現価係数
- B. 国民年金
- C. 資本回収係数
- D. 関連業法の遵守

答え・解説

Q0095 正答：C. 資本回収係数

解説：この目的に対応するのは資本回収係数である。現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数という機能・考え方を持つためである。

Q0096

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント6：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

「資本回収係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- B. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- C. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- D. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

答え・解説

Q0096 正答：D. 現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

解説：資本回収係数は現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0097

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント7：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

「資本回収係数」は、将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0097 正答：×

解説：誤り。記述は年金現価係数の説明である。資本回収係数は現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数。

Q0098

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント8：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

次の状況で中心となる論点はどれか。「現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数」ことが求められている。

A. 国民年金

B. 資本回収係数

C. 関連業法の遵守

D. 年金現価係数

答え・解説

Q0098 正答：B. 資本回収係数

解説：中心となる論点は資本回収係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0099

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント9：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

資本回収係数を選定するときは、「現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0099 正答：○

解説：正しい。資本回収係数の選定・運用では、現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数という目的との適合を確認する。

Q0100

ライフプランニングと資金計画

タグ：資本回収係数

用語：資本回収係数の確認ポイント10：現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数

資本回収係数は、現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0100 正答：×

解説：誤り。資本回収係数はまさに現在の一括資金を一定期間で取り崩す場合の每期受取額を求める係数という意味を持つ。

Q0101

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント1：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

次の説明に最も合う用語はどれか。将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

- A. 公的医療保険
- B. 厚生年金保険
- C. ライフイベント表
- D. 年金現価係数

答え・解説

Q0101 正答：D. 年金現価係数

解説：年金現価係数は、将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0102

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント2：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

年金現価係数の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- C. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- D. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表

答え・解説

Q0102 正答：A. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

解説：年金現価係数の要点は「将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0103

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント3：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「年金現価係数」である。

- A. 公的医療保険：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- B. 年金現価係数：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- C. 厚生年金保険：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- D. ライフイベント表：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

答え・解説

Q0103 正答：B. 年金現価係数：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

解説：正しい組合せは「年金現価係数：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0104

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント4：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

「年金現価係数」は、将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0104 正答：○

解説：正しい。年金現価係数は将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0105

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント5：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

組織が「将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 公的医療保険
- B. 厚生年金保険
- C. ライフイベント表
- D. 年金現価係数

答え・解説

Q0105 正答：D. 年金現価係数

解説：この目的に対応するのは年金現価係数である。将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数という機能・考え方を持つためである。

Q0106

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント6：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

「年金現価係数」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数
- B. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- C. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- D. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

答え・解説

Q0106 正答：A. 将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

解説：年金現価係数は将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0107

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント7：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

「年金現価係数」は、病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0107 正答：×

解説：誤り。記述は公的医療保険の説明である。年金現価係数は将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数。

Q0108

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント8：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

次の状況で中心となる論点はどれか。「将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数」ことが求められている。

A. 厚生年金保険

B. ライフイベント表

C. 年金現価係数

D. 公的医療保険

答え・解説

Q0108 正答：C. 年金現価係数

解説：中心となる論点は年金現価係数である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0109

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント9：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

年金現価係数は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0109 正答：×

解説：誤り。年金現価係数は将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0110

ライフプランニングと資金計画

タグ：年金現価係数

用語：年金現価係数の確認ポイント10：将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数

年金現価係数と他の類似概念を区別する際は、「将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0110 正答：○

解説：正しい。年金現価係数の定義は将来の一定額の連続受取に必要な現在資金を求める係数であり、類似概念との区別に使える。

Q0111

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント1：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

次の説明に最も合う用語はどれか。病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

- A. 公的医療保険
- B. 国民年金
- C. 住宅ローン
- D. キャッシュフロー表

答え・解説

Q0111 正答：A. 公的医療保険

解説：公的医療保険は、病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0112

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント2：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

公的医療保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- C. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資
- D. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表

答え・解説

Q0112 正答：B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

解説：公的医療保険の要点は「病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0113

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント3：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「公的医療保険」である。

- A. 国民年金：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- B. 住宅ローン：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- C. 公的医療保険：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- D. キャッシュフロー表：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

答え・解説

Q0113 正答：C. 公的医療保険：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

解説：正しい組合せは「公的医療保険：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0114

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント4：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

「公的医療保険」は、病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0114 正答：○

解説：正しい。公的医療保険は病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0115

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント5：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

組織が「病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 公的医療保険
- B. 国民年金
- C. 住宅ローン
- D. キャッシュフロー表

答え・解説

Q0115 正答：A. 公的医療保険

解説：この目的に対応するのは公的医療保険である。病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度という機能・考え方を持つためである。

Q0116

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント6：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

「公的医療保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 将来の収入・支出・年間収支・金融資産残高を時系列で示す表
- B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度
- C. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資
- D. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

答え・解説

Q0116 正答：B. 病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

解説：公的医療保険は病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0117

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント7：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

「公的医療保険」は、日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0117 正答：×

解説：誤り。記述は国民年金の説明である。公的医療保険は病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度。

Q0118

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント8：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

次の状況で中心となる論点はどれか。「病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度」ことが求められている。

- A. 住宅ローン
- B. キャッシュフロー表
- C. 国民年金
- D. 公的医療保険

答え・解説

Q0118 正答：D. 公的医療保険

解説：中心となる論点は公的医療保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0119

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント9：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

公的医療保険を選定するときは、「病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度」という本来の目的に合うかを確認する。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0119 正答：○

解説：正しい。公的医療保険の選定・運用では、病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度という目的との適合を確認する。

Q0120

ライフプランニングと資金計画

タグ：公的医療保険

用語：公的医療保険の確認ポイント10：病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度

公的医療保険は、病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度という説明とは無関係である。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0120 正答：×

解説：誤り。公的医療保険はまさに病気やけがの医療費負担を社会全体で支える制度という意味を持つ。

Q0121

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント1：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

次の説明に最も合う用語はどれか。日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

- A. 厚生年金保険
- B. 国民年金
- C. FPの職業倫理
- D. 個人バランスシート

答え・解説

Q0121 正答：B. 国民年金

解説：国民年金は、日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0122

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント2：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

国民年金の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- B. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- C. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- D. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表

答え・解説

Q0122 正答：C. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

解説：国民年金の要点は「日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0123

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント3：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「国民年金」である。

- A. 厚生年金保険：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- B. FPの職業倫理：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- C. 個人バランスシート：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- D. 国民年金：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

答え・解説

Q0123 正答：D. 国民年金：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

解説：正しい組合せは「国民年金：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0124

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント4：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

「国民年金」は、日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0124 正答：○

解説：正しい。国民年金は日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0125

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント5：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

組織が「日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 厚生年金保険
- B. 国民年金
- C. FPの職業倫理
- D. 個人バランスシート

答え・解説

Q0125 正答：B. 国民年金

解説：この目的に対応するのは国民年金である。日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度という機能・考え方を持つためである。

Q0126

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント6：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

「国民年金」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一定時点の資産、負債、純資産を一覧化した表
- B. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- C. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度
- D. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

答え・解説

Q0126 正答：C. 日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

解説：国民年金は日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0127

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント7：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

「国民年金」は、適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0127 正答：×

解説：誤り。記述は厚生年金保険の説明である。国民年金は日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度。

Q0128

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント8：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

次の状況で中心となる論点はどれか。「日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度」ことが求められている。

- A. 国民年金
- B. FPの職業倫理
- C. 個人バランスシート
- D. 厚生年金保険

答え・解説

Q0128 正答：A. 国民年金

解説：中心となる論点は国民年金である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0129

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント9：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

国民年金は名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0129 正答：×

解説：誤り。国民年金は日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0130

ライフプランニングと資金計画

タグ：国民年金

用語：国民年金の確認ポイント10：日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度

国民年金と他の類似概念を区別する際は、「日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0130 正答：○

解説：正しい。国民年金の定義は日本国内の一定年齢の者を対象とする基礎年金制度であり、類似概念との区別に使える。

Q0131

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント1：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

次の説明に最も合う用語はどれか。適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

- A. 住宅ローン
- B. 関連業法の遵守
- C. 厚生年金保険
- D. 終価係数

答え・解説

Q0131 正答：C. 厚生年金保険

解説：厚生年金保険は、適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0132

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント2：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

厚生年金保険の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資
- B. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- C. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- D. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

答え・解説

Q0132 正答：D. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

解説：厚生年金保険の要点は「適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0133

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント3：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「厚生年金保険」である。

- A. 厚生年金保険：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- B. 住宅ローン：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- C. 関連業法の遵守：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度
- D. 終価係数：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

答え・解説

Q0133 正答：A. 厚生年金保険：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

解説：正しい組合せは「厚生年金保険：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0134

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント4：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

「厚生年金保険」は、適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0134 正答：○

解説：正しい。厚生年金保険は適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0135

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント5：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

組織が「適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 住宅ローン
- B. 関連業法の遵守
- C. 厚生年金保険
- D. 終価係数

答え・解説

Q0135 正答：C. 厚生年金保険

解説：この目的に対応するのは厚生年金保険である。適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度という機能・考え方を持つためである。

Q0136

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント6：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

「厚生年金保険」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 現在の一括資金を一定利率で運用した将来額を求める係数
- B. 税務・法律・保険募集など他資格の独占業務へ抵触しない範囲で助言すること
- C. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資
- D. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

答え・解説

Q0136 正答：D. 適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

解説：厚生年金保険は適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0137

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント7：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

「厚生年金保険」は、住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0137 正答：×

解説：誤り。記述は住宅ローンの説明である。厚生年金保険は適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度。

Q0138

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント8：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

次の状況で中心となる論点はどれか。「適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度」ことが求められている。

A. 関連業法の遵守

B. 厚生年金保険

C. 終価係数

D. 住宅ローン

答え・解説

Q0138 正答：B. 厚生年金保険

解説：中心となる論点は厚生年金保険である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0139

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント9：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

厚生年金保険を選定するときは、「適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度」という本来の目的に合うかを確認する。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0139 正答：○

解説：正しい。厚生年金保険の選定・運用では、適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度という目的との適合を確認する。

Q0140

ライフプランニングと資金計画

タグ：厚生年金保険

用語：厚生年金保険の確認ポイント10：適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度

厚生年金保険は、適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度という説明とは無関係である。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0140 正答：×

解説：誤り。厚生年金保険はまさに適用事業所の会社員などが加入し報酬に応じた年金を提供する制度という意味を持つ。

Q0141

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント1：住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

次の説明に最も合う用語はどれか。住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

- A. FPの職業倫理
- B. ライフイベント表
- C. 現価係数
- D. 住宅ローン

答え・解説

Q0141 正答：D. 住宅ローン

解説：住宅ローンは、住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0142

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント2：住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

住宅ローンの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資
- B. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則
- C. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- D. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数

答え・解説

Q0142 正答：A. 住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

解説：住宅ローンの要点は「住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0143

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント3：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「住宅ローン」である。

- A. FPの職業倫理：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資
- B. 住宅ローン：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資
- C. ライフイベント表：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資
- D. 現価係数：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

答え・解説

Q0143 正答：B. 住宅ローン：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

解説：正しい組合せは「住宅ローン：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0144

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント4：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

「住宅ローン」は、住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0144 正答：○

解説：正しい。住宅ローンは住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0145

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント5：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

組織が「住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. FPの職業倫理
- B. ライフイベント表
- C. 現価係数
- D. 住宅ローン

答え・解説

Q0145 正答：D. 住宅ローン

解説：この目的に対応するのは住宅ローンである。住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資という機能・考え方を持つためである。

Q0146

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント6：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

「住宅ローン」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資
- B. 将来受け取る一括資金の現在価値を求める係数
- C. 家族の将来予定と必要資金を年ごとに整理する表
- D. 顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則

答え・解説

Q0146 正答：A. 住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

解説：住宅ローンは住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0147

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント7：住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

「住宅ローン」は、顧客利益を尊重し、守秘義務や説明責任を果たして公正に業務を行う原則。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0147 正答：×

解説：誤り。記述はFPの職業倫理の説明である。住宅ローンは住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資。

Q0148

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント8：住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資

次の状況で中心となる論点はどれか。「住宅取得資金を長期で借入れ元利を返済する融資」ことが求められている。

- A. ライフイベント表
- B. 現価係数
- C. 住宅ローン
- D. FPの職業倫理

答え・解説

Q0148 正答：C. 住宅ローン

解説：中心となる論点は住宅ローンである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0149

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント9：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

住宅ローンは名称だけで判断できるため、対象や目的を確認する必要はない。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0149 正答：×

解説：誤り。住宅ローンは住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資という概念であり、対象・目的・前提条件の確認が必要である。

Q0150

ライフプランニングと資金計画

タグ：住宅ローン

用語：住宅ローンの確認ポイント10：住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資

住宅ローンと他の類似概念を区別する際は、「住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資」という定義を基準にするとよい。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0150 正答：○

解説：正しい。住宅ローンの定義は住宅取得資金を長期で借り入れ元利を返済する融資であり、類似概念との区別に使える。